

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-112735

(P2003-112735A)

(43)公開日 平成15年4月18日(2003.4.18)

(51)Int.Cl'

B 65 D 17/34
17/32
17/347
17/353

識別記号

F I

B 65 D 17/32
17/34

マーク(参考)

3 E 0 9 3

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願2001-306633(P2001-306633)

(22)出願日 平成13年10月2日(2001.10.2)

(71)出願人 595102983

有限会社湘南つりエサセンター

神奈川県横浜市戸塚区沢沢町1201番地

(72)発明者 伊東 鶴太郎

神奈川県横浜市戸塚区沢沢町1201番地 有限会社湘南つりエサセンター内

(72)発明者 大釜 ▲徳▼久

神奈川県横浜市戸塚区沢沢町1201番地 有限会社湘南つりエサセンター内

(74)代理人 100080528

弁理士 下山 富士男

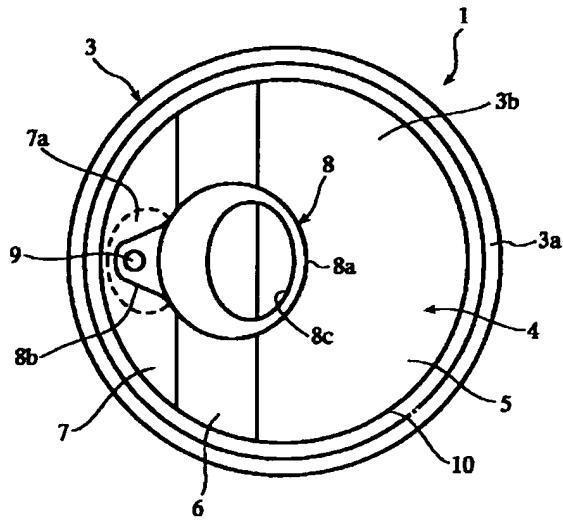
Fターム(参考) 3E093 AA02 AA04 AA11 DD07

(54)【発明の名称】 缶容器

(57)【要約】

【課題】本発明は、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分となる開封用のプルトップ付きの缶詰食品や飲料用缶等を開封する際に生ずる指先や爪等に感じる痛みを解消させることにより、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等が今までの不便さや不快感を起こすことなく容易に開封できる缶容器を提供する。

【解決手段】本発明の缶容器は、缶容器本体2の蓋体3に、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分となる開封用のプルトップ部8を備えるプルトップ型缶容器において、外周壁部3aで囲まれる蓋体上面領域4に、平端部5とこの平端部5に連なる縦み部7とを設けるとともに、前記プルトップ部8の突出端8aが前記缶容器本体2の蓋体3上面から離れる配置で、且つ、当該プルトップ部8の基端部8bを蓋体3に固着又は接着してなることを特徴とするものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】缶容器本体の蓋体に、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分となる開封用のプルトップ部を備えるプルトップ型缶容器において、外周壁部で囲まれる蓋体上面領域に、平端部とこの平端部に連なる窪み部とを設けるとともに、前記プルトップ部の突出端が前記缶容器本体の蓋体上面から離れる配置で、且つ、当該プルトップ部の基礎部を蓋体に固着又は枢着してなることを特徴とする缶容器。

【請求項2】前記プルトップ部の基礎部を、前記缶容器本体の蓋体上面領域における平端部と窪み部との間の傾斜部に固着又は枢着することで、プルトップ部の突出端が蓋体上面から離れるように構成したことを特徴とする請求項1記載の缶容器。

【請求項3】前記プルトップ部の基礎部を、前記缶容器本体の蓋体上面領域における平端部に、外周壁部が形成する面に沿って固着又は枢着することで、プルトップ部の突出端が蓋体上面から離れるように構成したことを特徴とする請求項1記載の缶容器。

【請求項4】缶容器本体及びこの蓋体は、缶詰用又は飲料用として形成されたものであることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の記載の缶容器。

【請求項5】前記飲料用として形成される缶容器本体の蓋体における開封構成は、開封後、開封用線に囲まれた開封部分が蓋体に固着又は枢着されて缶の蓋体から剥離しない構成のものか、又は、開封後、開封動作と同時に、開封用線に囲まれた開封部分を蓋体から抜き取ってしまう構成のいずれかであることを特徴とする請求項4記載の缶容器。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】本発明は、改良を施した缶容器に関し、詳しくは、缶詰用又は飲料用等として使用される缶容器の改良に関する。

【従来の技術】従来、缶製品全般の開封用部分の構成については、さまざまな工夫が加えられ、開封に必要な条件が整っている。まず、図11、図12に従来の一例の缶詰用のプルトップ付きの蓋体50を示す。この蓋体50は、蓋体上面領域51に沿って開封用のプルトップ部(指先等の引っ掛け部分又は懸架部分)52を止め具(又は枢着部)53を用いて添設し、プルトップ部52を指等で引き起こすことで、開口用線66を設けた蓋体上面領域51を開封するようになっている。次に、図13、図14に従来の一例の飲料用缶のプルトップ付きの蓋体60を示す。この蓋体60は、蓋体上面領域61に沿って開封用のプルトップ部(指先等の引っ掛け部分又は懸架部分)62を止め具(又は枢着部)63を用いて添設し、プルトップ部62を指等で引き起こすことで開封するようになっている。即ち、図11乃至図14における各プルトップ部52又は62を起こせば確実に開封でき、内容物を取り出し又は飲料を飲むことができる仕

10

組みになっている。なお、図13、図14に従来の一例の飲料用缶のプルトップ付きの蓋体60は、開口した後、開口部分となる小片部64及びその開口用線65に囲まれた部分が止め具63に枢着されて蓋体上面領域61の頂部面から剥離しない構成としたものと、また、開口部分となる小片部64を頂部面に枢着している止め具63の周間に開口用線65を設け、飲料用缶の開口動作と同時に、缶の頂部面における開口用線65に囲まれた範囲全体を小片部64とともに頂部面から抜き取ってしまうような構成としたものがある。

20

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した従来の技術では、プルトップ部52又は62を予め少し指先等で起こすことが前提となる。この場合、プルトップ部52又は62の掴み部分(端部)を起こし易くするために指先及び爪によってプルトップの掴み部分を予め少し起こしてから穴部52a又は62aに指先等を十分に差し込み、力を加え開封するものであり、指先や爪を使うことが必要であり、また、子供やお年寄り等の力の弱い人や女性等がファッショントとしての爪を伸ばしたマニキュアを塗った指先場合には非常に不便であり、指先に痛みを感じる思いを多くの消費者が経験しているのが実情である。本発明は、上記従来の事情に鑑み開発されたものであり、プルトップ部(指先等の引っ掛け部分又は懸架部分)付きの缶詰食品や飲料用缶等を開封する際に生ずる指先や爪等に感じる痛みを解消させることにより、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等が今までの不便さや不快感を起こすことなく容易に開封できる缶容器を提供する。なお、本発明が対象とする缶容器のうちの飲料用缶容器に関しては、この容器を

30

開封した後、開口部分となる小片部及びその開封用線に囲まれた部分が枢着部により枢着されて缶の頂部面から剥離しない構成としたものと、また、開口部分となる小片部を頂部面に枢着している部分の周間に開封用線を設け、缶の開封動作と同時に、缶の頂部面における開封用線に囲まれた範囲全体を小片部とともに頂部面から抜き取ってしまうような構成としたものがあるが、本発明の飲料用缶容器に関しては、これらいずれの構成の缶に対しても適用される。

40

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためには、請求項1記載の発明は、缶容器本体の蓋体に、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分となる開封用のプルトップ部を備えるプルトップ型缶容器において、外周壁部で囲まれる蓋体上面領域に、平端部とこの平端部に連なる窪み部とを設けるとともに、前記プルトップ部の突出端が前記缶容器本体の蓋体上面から離れる配置で、且つ、当該プルトップ部の基礎部を蓋体に固着又は枢着してなることを特徴とするものである。請求項2記載の発明は、前記請求項1記載の缶容器において、前記プルトップ部の基礎部を、前記缶容器本体の蓋体上面領域における平端部と窪み部との間の傾斜部に固着又は枢着するこ

50

とで、プルトップ部の突出端が蓋体上面から離れるように構成したことを特徴とするものである。請求項3記載の発明は、前記請求項1記載の缶容器において、前記プルトップ部の基端部を、前記缶容器本体の蓋体上面領域における平端部に、外周壁部が形成する面に沿って固着又は接着することで、プルトップ部の突出端が蓋体上面から離れるように構成したことを特徴とするものである。請求項4記載の発明は、前記請求項1乃至3のいずれかに記載の缶容器において、前記缶容器本体及びこの蓋体は、缶詰用又は飲料用として形成されたものであることを特徴とする。請求項5記載の発明は、前記請求項4記載の缶容器において、前記飲料用として形成される缶容器本体の蓋体における開封構成は、開封後、開封用線に囲まれた開封部分が蓋体に固着又は接着されて缶の蓋体から剥離しない構成のものか、又は、開封後、開封動作と同時に、開封用線に囲まれた開封部分を蓋体から抜き取ってしまう構成のいずれかであることを特徴とする。このような本発明によれば、開封用のプルトップ部の突出端が蓋体上面から離れる配置となっているので、指先等でプルトップ部を無理に引き起こすことが不要で、極めて簡略に指先等によりプルトップ部の開封操作を行うことができ、これにより、開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起こすことなく缶容器の内容物、即ち、缶詰食品又は飲料の取り出し又は吸飲を行うことができる。

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態について詳細に説明する。本発明に係る以下の説明においては、プルトップとは、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分を意味するものとする。従って、例えば、プルトップ型缶容器とは、指先等の引っ掛け部分又は懸架部分を具備するタイプの缶容器1のことをいう。

(実施の形態1) 図1、図2は、本発明の実施の形態1の缶詰として使用されるプルトップ型缶容器1を示すものである。このプルトップ型缶容器1は、容器本体2の上端に一体的に配置される蓋体3に開封用のプルトップ部8を取り付けて構成している。蓋体3は、平面円形状の外周壁部3aと、この外周壁部3aで囲まれる蓋体上片部3bとを一体成形することで形成している。前記外周壁部3aで囲まれる蓋体上片部3bの周囲には、このプルトップ型缶容器1の開封用のための開封用線10が設けられている。前記蓋体上片部3bの上面、即ち、蓋体上面領域4には、平面半円状の平端部5とこの平端部5に傾斜部6を介して連なる平面三日月形状の窪み部7とが設けられている。そして、前記プルトップ部8の突出端8aが蓋体上面から離れる配置で該プルトップ部8の基端部8bを止め具(又は接着部)9により前記窪み部7に接着している。図1において、8cは突出端8aに設けた穴部である。このプルトップ型缶容器1の開封操作は、蓋体上片部3bの上面から離れている前記プ

トップ部8の突出端8aの下側に指先等を当て、図2中の矢印A方向にプルトップ部8を起こし、これにより、基端部8bが、窪み部7に予め設けている図1において点線の範囲で示す開封するための片部7aを、図2において下方に押し下げ、次に、当該片部7aを引き上げることにより行うものである。これにより、片部7aの部分から徐々に開封用線10に沿って蓋体上片部3bの部分がプルトップ型缶容器1から外脱して開封される。本実施の形態1のアルトップ型缶容器1によれば、蓋体上

10 片部3bの上面から離れている前記アルトップ部8の突出端8aの下側に指先等を当て極めて簡略に開封操作を行うことができ、従来のように指先等でプルトップ部8を無理に引き起こすことが不要で、極めて簡略に指先等によりアルトップ部8の開封操作を行うことができる。これにより、従来のように開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起こすことなく内容物、即ち、缶詰食品の取り出しを行なうことができる。

20 (実施の形態2) 図3、図4は、本発明の実施の形態2の缶詰として使用されるアルトップ型缶容器11を示すものである。このアルトップ型缶容器11は、容器本体12の上端に一体的に配置される蓋体13に開封用のアルトップ部18を取り付けて構成している。蓋体13は、平面円形状の外周壁部13aと、この外周壁部13aで囲まれる蓋体上片部13bとを一体成形することで形成している。前記外周壁部13aで囲まれる蓋体上片部13bの周囲には、このアルトップ型缶容器11の開封用のための開封用線20が設けられている。前記蓋体

30 上片部13bの上面、即ち、蓋体上面領域14の中央部には、平面円形状の平端部15が形成され、この平端部15に平面円環形状の傾斜部16を介して連なる平面円環形状の窪み部17が設けられている。そして、前記アルトップ部18の突出端18aが蓋体上面から離れる傾斜配置となる状態で該アルトップ部18の基端部18bを止め具(又は接着部)19により前記傾斜部16に接着している。図3において、18cは突出端18aに設けた穴部である。このアルトップ型缶容器11の開封操作は、蓋体上片部13bの上面から離れている前記アルトップ部18の突出端18aの下側に指先等を当て、図4中の矢印A方向にアルトップ部18を起こし、これにより、基端部18bをもって前記傾斜部16に予め設けている図3において点線の範囲で示す開封するための片部16aを下方に押し下げ、次に、当該片部16aを引き上げることにより行うものである。これにより、片部16aの部分から徐々に開封用線10に沿って蓋体上片部13bの部分がアルトップ型缶容器11から外脱して開封される。本実施の形態2のアルトップ型缶容器11によれば、蓋体上片部13bの上面から離れている前記アル

40 トップ部18の突出端18aの下側に指先等を当て、図4中の矢印A方向にアルトップ部18を起こし、これにより、基端部18bをもって前記傾斜部16に予め設けている図3において点線の範囲で示す開封するための片部16aを下方に押し下げ、次に、当該片部16aを引き上げることにより行うものである。これにより、片部16aの部分から徐々に開封用線10に沿って蓋体上片部13bの部分がアルトップ型缶容器11から外脱して開封される。本実施の形態2のアルトップ型缶容器11によれば、蓋体上片部13bの上面から離れている前記アル

極めて簡略に開封操作を行うことができ、実施の形態1の場合と同様に指先等でプルトップ部18を無理に引き起こすことが不要で、極めて簡略に指先等によりプルトップ部18の開封操作を行うことができる。これにより、従来のように開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起すことなく内容物の取り出しを行なうことができる。図5は、上述した実施の形態2の変形例を示す説明図であり、蓋体上片部13bの上面、即ち、蓋体上面領域14の中央部には、実施の形態2の平端部15よりも小径の平面円形状の平端部15'が形成され、この平端部15'に平面円環形状の傾斜部16を介して連なる平面円環形状の溝み部17が設けられている。そして、前記プルトップ部18の突出端18aが外周壁部13aの上端面が形成する平面に沿う状態で、且つ、蓋体上面から離れる配置で該プルトップ部18の基端部18bを止め具(又は枢着部)19により前記平端部15'の中心部に固着している。図5中、20は、前記外周壁部13aで囲まれる蓋体上片部13bの周囲に設けたプルトップ型缶容器11の開封用のための開封用線である。このような構造によっても、前記実施の形態2の場合と同様な作用、効果を発揮させることができる。

(実施の形態3) 図6、図7は、本発明の実施の形態3の飲料用缶として使用されるプルトップ型缶容器21を示すものである。このプルトップ型缶容器21は、容器本体22の上端に一体的に配置される蓋体23に開封用のプルトップ部28を取り付けて構成している。蓋体23は、平面円形状の外周壁部23aと、この外周壁部23aで囲まれる蓋体上片部23bとを一体成形することで形成している。前記蓋体上片部23bの上面、即ち、蓋体上面領域24の図6において右側には、平面半円形状の平端部25が形成され、蓋体上面領域24の図6において左側には、平端部25に傾斜配置で連なる平面半円形状の溝み部27が設けられている。そして、プルトップ部28の突出端28aが蓋体上面から離れる傾斜配置となる状態で該プルトップ部28の基端部28bを止め具(又は枢着部)29により前記傾斜部26の途中に固着している。図6において、28cは突出端28a側に設けた穴部である。このプルトップ型缶容器21の開封操作は、蓋体上片部23bの上面から離れている前記プルトップ部28の突出端28aの下側に指先等を当て、図7中の矢印A方向にプルトップ部28を起こし、これにより、基端部28bをもって前記溝み部27に予め設けている図6において点線で示す開封用のための開封用線27bを有する開封片27aの範囲部分を図7において下方に押し下げる(又は引き上げる)ことにより行なうものである。本実施の形態3が対象とするプルトップ型缶容器21に関しては、これを開封した後、開口部分となる開封片27aの範囲部分及びその開封用線27

bに囲まれた部分が枢着部により枢着されて缶の蓋体上片部23bから剥離しない構成としたものと、また、開口部分となる開封片27aを蓋体上片部23bに枢着している部分の周囲に開封用線27bを設け、缶の開封動作と同時に、缶の蓋体上片部23bにおける開封用線27bに囲まれた範囲全体を開封片27aとともに蓋体上片部23bから抜き取ってしまうような構成としたものがあるが、本実施の形態3が対象とするプルトップ型缶容器21に関しては、これらいずれの構成の缶に対しても適用される。本実施の形態3のプルトップ型缶容器21によれば、蓋体上片部23bの上面から離れている前記プルトップ部28の突出端28aの下側に指先等を当て極めて簡略に開封操作を行うことができ、実施の形態1、2の場合と同様に指先等でプルトップ部28を無理に引き起こすことが不要で、極めて簡略に指先等によりプルトップ部28の開封操作を行うことができる。これにより、従来のように開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起すことなく内容物である飲料の吸飲を行うことができる。

(実施の形態4) 図8、図9は、本発明の実施の形態4の飲料用缶として使用されるプルトップ型缶容器31を示すものである。このプルトップ型缶容器31は、容器本体32の上端に一体的に配置される蓋体33に開封用のプルトップ部38を取り付けて構成している。蓋体33は、平面円形状の外周壁部33aと、この外周壁部33aで囲まれる蓋体上片部33bとを一体成形することで形成している。蓋体上片部33bの上面、即ち、蓋体上面領域34には、平面円形状の平端部35が形成され、この平端部35に平面円環形状の傾斜部36を介して連なる平面円環形状の溝み部37が設けられている。そして、前記プルトップ部38の突出端38aが蓋体上面から離れる傾斜配置となる状態で該プルトップ部38の基端部38bを止め具(又は枢着部)39により前記傾斜部36に固着している。止め具(又は枢着部)39は、蓋体上片部33bの中心位置又は適当な偏心位置に設けてても良い。図8において、38cは突出端38a側に設けた穴部である。このプルトップ型缶容器31の開封操作は、蓋体上片部33bの上面から離れている前記プルトップ部38の突出端38aの下側に指先等を当て、図9中の矢印A方向にプルトップ部38を起こし、これにより、基端部38bをもって前記傾斜部36に予め設けている図8において点線で示す開封用のための開封用線36bを有する開封片36aの範囲部分を図9において下方に押し下げる(又は引き上げる)ことにより行なうものである。本実施の形態4が対象とするプルトップ型缶容器31に関しては、これを開封した後、開口部分となる開封片36aの範囲部分及びその開封用線36bに囲まれた部分が枢着部により枢着されて缶の蓋体上

片部33bから剥離しない構成としたものと、また、開口部分となる開封片36aを蓋体上片部33bに接着している部分の周囲に開封用線36bを設け、缶の開封動作とともに、缶の蓋体上片部33bにおける開封用線36bに囲まれた範囲全体を開封片36aとともに蓋体上片部33bから抜き取ってしまうような構成としたものがあるが、本実施の形態4が対象とするプルトップ型缶容器31に関しては、これらいずれの構成としたものがあるが、本実施の形態4が対象とするプルトップ型缶容器31によれば、蓋体上片部33bの上面から離れている前記プルトップ部38の突出端38aの下側に指先等を当て極めて簡略に開封操作を行うことができ、実施の形態2の場合と同様に指先等でプルトップ部38を無理に引き起こすことが不要で、極めて簡略に指先等によりプルトップ部38の開封操作を行うことができる。これにより、従来のように開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起こすことなく内容物である飲料の吸飲を行うことができる。
 図10は、実施の形態4の変形例を示すものであり、蓋体上片部33bの上面、即ち、蓋体上面領域34の中央部には、実施の形態4の平端部35よりも小径の平面円形状の平端部35'が形成され、この平端部35'に平面円環形状の傾斜部36を介して連なる平面円環形状の窪み部37が設けられている。そして、プルトップ部38の突出端38aが外周壁部33aの上端面が形成する平面に沿う状態で、且つ、蓋体上面から離れる配置で該プルトップ部38の基端部38bを止め具（又は接着部）39により前記平端部35'の中心部に固着している。図10中、36bは、開封用のための開封用線である。このような構造によっても、実施の形態4の場合と同様な作用、効果を発揮させることができる。以上説明した本発明の実施の形態1乃至4の各缶は、これがアルミ製であるか、スチール製であるか或いはこれら以外の他の材質であるかを問うものではない。また、実施の形態1乃至4の缶、缶蓋、プルトップ部分の各形状を各図示例に限定するものではなく、各種の形状として構成できる。以上説明した本発明の実施の形態1乃至4によれば、消費者がなれ親しんでいる缶詰め食品や缶入り飲料水等のプルトップ開封タイプのプルトップ付缶容器において、消費者が開封時に指先や爪等を痛めず簡単に開封できるため、使い勝手が良好となる。これによって、子供やお年寄り等の指先の力の弱い人たちや、指先にオシャレをした女性であってもプルトップタイプの缶製品の開封時における指先や爪等に痛みを感じる不都合が解消することができる。従って、消費者の抵抗感が解消して消費意欲の向上に結びつく。また、高齢化社会に向かって消費者の年齢が進行して行く現在としては特に有益である。今まで缶飲料製品においては飲み口部分に金属の切り口があり、唇にふれて怪我を負う可能性があった

10

20

30

40

50

が、本実施の形態1乃至4によれば窪み部を有しているので金属の切り口が口元から離れ危険性が少くなり、更に、飲料の場合でもグラスの縁と同様な飲み口を実現することが可能になり、グラスで飲んでいる感覚をもって飲料を飲むことができ、新しいタイプの缶容器として宣伝効果が期待できる。また、蓋体にこぼれた飲料水等の内容物が飲み口の窪み部（凹み部分）に自動的に集まることから、蓋体上面全体に内容物が広がって残る見た目の汚さが解消される。更にまた、従来の缶容器では、開封時の衝撃によって内容物が散乱する惧れがしばしばあったが、本実施の形態1乃至4によれば縁の部分よりかなり低い部分に開口部分を設けることができるため、開封時の衝撃による内容物の散乱の懼れを解消できる。
【発明の効果】 本発明によれば、開封用のプルトップ部の突出端が蓋体上面から離れる配置となっているので、開封する際に指先や爪等に痛みを伴うことを回避でき、子供やお年寄りは勿論、指先にオシャレをする女性等も従来のような不便さや不快感を起こすことなく缶容器の内容物、即ち、缶詰食品又は飲料の取り出し又は吸飲を行なうことができるプルトップ型缶容器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1のプルトップ型缶容器の平面図である。

【図2】本発明の実施の形態1のプルトップ型缶容器の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図3】本発明の実施の形態2のプルトップ型缶容器の平面図である。

【図4】本発明の実施の形態2のプルトップ型缶容器の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図5】本発明の実施の形態2のプルトップ型缶容器の変形例の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図6】本発明の実施の形態3のプルトップ型缶容器の平面図である。

【図7】本発明の実施の形態3のプルトップ型缶容器の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図8】本発明の実施の形態4のプルトップ型缶容器の平面図である。

【図9】本発明の実施の形態4のプルトップ型缶容器の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図10】本発明の実施の形態4のプルトップ型缶容器の変形例の蓋体及び容器本体を示す概略断面図である。

【図11】従来の缶詰用のプルトップ型缶容器の蓋体を示す平面図である。

【図12】従来の缶詰用のプルトップ型缶容器の蓋体を示す概略断面図である。

【図13】従来の飲料用のプルトップ型缶容器の蓋体の他例を示す平面図である。

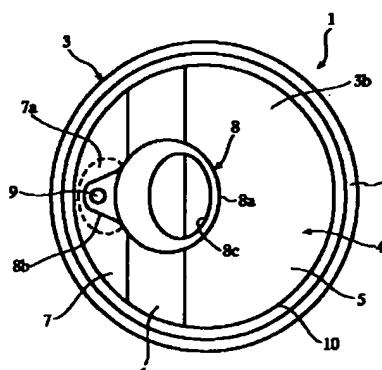
【図14】従来の飲料用のプルトップ型缶容器の蓋体の他例を示す概略断面図である。

50 他例を示す概略断面図である。

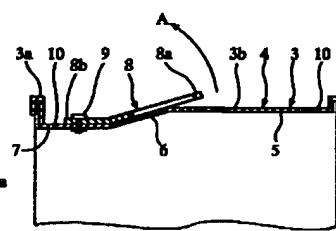
【符号の説明】

1 プルトップ型缶容器	19 止め具(又は接着部)
2 容器本体	21 プルトップ型缶容器
3 蓋体	22 容器本体
3a 外周壁部	23 蓋体
3b 蓋体上片部	23a 外周壁部
4 蓋体上面領域	23b 蓋体上片部
5 平端部	24 蓋体上面領域
6 傾斜部	25 平端部
7 缝み部	26 傾斜部
7a 片部	10 27 缝み部
8 プルトップ部	27a 開封片
8a 突出端	28 プルトップ部
8b 基端部	28a 突出端
8c 穴	28b 基端部
9 止め具(又は接着部)	29 止め具(又は接着部)
11 プルトップ型缶容器	31 プルトップ型缶容器
12 容器本体	32 容器本体
13 蓋体	33 蓋体
13a 外周壁部	33a 外周壁部
13b 蓋体上片部	20 33b 蓋体上片部
14 蓋体上面領域	34 蓋体上面領域
15 平端部	35 平端部
15' 平端部	35' 平端部
16 傾斜部	36 傾斜部
16a 片部	36a 開封片
17 缝み部	37 缝み部
18 プルトップ部	38 プルトップ部
18a 突出端	38a 突出端
18b 基端部	38b 基端部
	30 39 止め具(又は接着部)

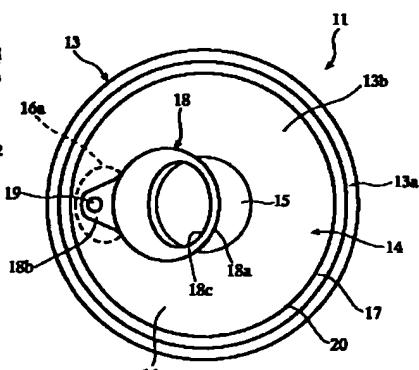
【図1】



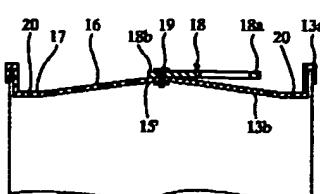
【図2】



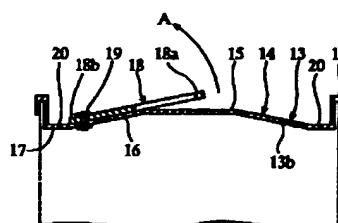
【図3】



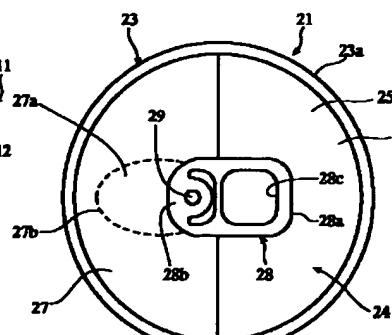
【図5】



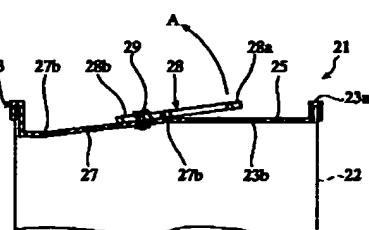
【図4】



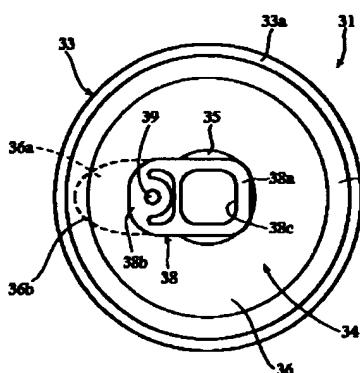
【図6】



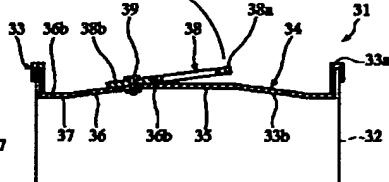
【图7】



(图8)

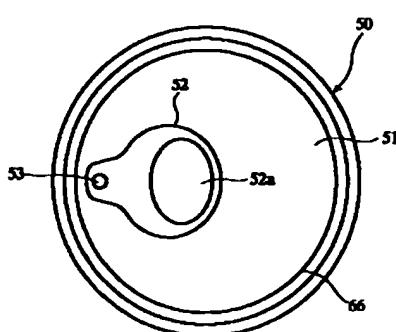


【四九】

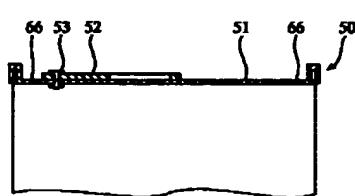


【图10】

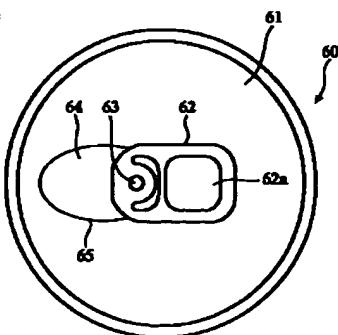
[図11]



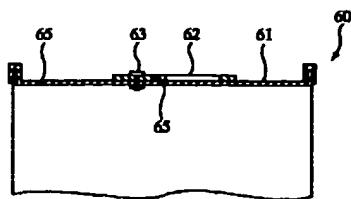
【図12】



【图13】



【图14】



JP02003112735A

DOCUMENT-IDENTIFIER: **JP 2003112735 A**

TITLE: CAN CONTAINER

PUBN-DATE: April 18, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ITOU, TSURUTAROU	N/A
OGAMA, NORIHISA	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHONAN TSURI ESA CENTER:KK	N/A

APPL-NO: JP2001306633

APPL-DATE: October 2, 2001

INT-CL (IPC): **B65D017/34**, B65D017/32 , B65D017/347 ,
B65D017/353

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a can container which can easily be opened without giving any inconvenience or uncomfortable feeling experienced heretofore by a child or an aged person as well as a female having ornamental cosmetics at her finger tips by a method wherein pain felt at the finger tips or nails and the like produced when a canned food or beverage can having a seal opening pull-top becoming either a hook portion or a hanger portion for the

finger tips is eliminated.

SOLUTION: A can container of this invention relates to a pull-top type can container in which a lid 3 of a can container main body 2 is provided with a pull-top part 8 for opening a seal becoming either a hook portion or a hanger portion for the finger tips. A lid upper surface area 4 enclosed by an outer circumferential wall 3a is provided with a flat end 5 and a notch 7 connected to the flat end 5. A protruding end 8a of the pull-top part 8 is spaced apart from the upper surface of the lid 3 of the can container main body 2, and a base end 8b of the pull-top part 8 is fixed to or pivotally attached to the lid

3.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO